

■言語学と、あなたが思いついた「〇〇学」の1つとの関係について、何か具体例をあげながら説明せよ。

- 言語学と経済学との関係。コミュニケーションが重視される点では共通。
- 言語学と心理学の関係について書きたいと思う。例えば、カウンセリングをする時にカウンセラーと患者との間には言語が必須となる。つまり心理学に言語学は必要ということが分かる。
- 音声学があげられる。実際的な文字と音がどのように発音されたりするのか、もしくはこの事象をどう音で表現するのか？ということに繋げて考えるため関係性があると思われる。
- 言語学と心理学。言語学は理論的には定義付けができて、その通りに語学学習を進めることができるが、実際会話をしてみると、会話している人々の間で多少の誤差が生じる。それは認識かもしれないし心理状態から生じる誤差かもしれないため。
- 文学。いろんな視点から一つの事を読み取りその答えが必ずしも一つだけではないという点
- 哲学と言語学。言葉の概念を説明し紐解いていくので関係があると思った。
- 言語学と経済学。輸入輸出などの貿易関係において国と国同士の経済について後進性を言語学が円滑にできごとがおこるには関係してくると思う。
- 社会学。言語があることで社会は形成されて行き、都市や国家という集合体の中でリーダーが現れて言葉によって支配していくから。
- 文化学。その時々文化に影響して生まれる言葉や、意味が変わっていく言葉がある
- 生物学と言語学は臓器や生理現象などについての研究を異国と共有する際に必要である
- 歴史学。言語も歴史とともに変わっていくから
- 心理学と言語学。どちらもコミュニケーションに関係している。心理学は心の中の言葉。言語学は自分の外に発信するもの
- 言語学と経済学。言語学→経済学／売り出しのポップや、商談の場での取引。経済学→言語学／新たな造語、ひとつの単語の意味が多義的になっていく
- 考古学は昔の遺跡や祠から新しい言語が見つかることと文化に言語が含まれているから
- 言語学と文学はかなり密接に結びついていると思う。文法や文字の規則を研究するのが言語学であり、それに基づいて文章を研究するのが文学
- 言語学と文学との関係について。文学は言わずもがな言語で書かれている。私がよく読んでいて本などを見ても、より深く書いてある物事を理解するためには言語の字体や文法などを理解することが必要だとおもう。関係性を一言で表すなら相対的な関係
- 考古学との関連を考えましたが、遺物や遺跡などから読み取った情報は言語的なものもあるから。
- 医学。高い医学は先進国から発展途上国へと継承されてきており、その中で大切なのが言語であるため、医学と言語には繋がりがあると考える。
- 言語がないと、コミュニケーションを取る手段がなくて、心理学を使って人を知りたいなら、言語の障害がなく、話が通じ合えることが重要だと思います。
- 言語は長い時間をかけて、変化し進化してきた。その中で今ある言語は全て祖先となる言語がありフランス語も元をたどると今ある様々なヨーロッパ言語と混ざったりし、またラテン語から派生してきたものである。その中で戦争や植民地などで必ず言語が混ざったりうつり変わったりする。その中で歴史学を学ぶことで言語がどのように今の形になったか理解を深めることが出来る。
- 自分は言語学と整体学との関係をあげます。あるマッサージ店に行ったことがあるのですが、海外の方が出てきて日本語もカタコトどころかほぼ英語だったため何を言ってるのか分からず、プロの整体師の免許を持っていると思われるのですが、本来体をリフレッシュさせるはずの整体学だと思われるのですが、その時に話す日常会話いわば言語の壁によって精神的な疲労が溜まった時がありました。どんなに整体学の教養があっても会話が詰まるとこうも精神的に疲れることがあるのだと思いました。整体学と言語学の関係性があると思われます。
- 言語学と歴史学について。歴史学はその場、その瞬間の景色や状況を大事にしていると思うが、この学問に限らず他の学問も、言語学はすべての基準であると思う。例えば植民地時代の影響でその支配されていた国の母国語が今も使われているというものがある。

- 言語学も数学も言語を学ぶ時に必要な文法や解答を求める際に必要な公式など基礎を学ぶ必要がある
- 心理学。心理学は人間の心や考え方を学ぶもので、言語がないと物事や感情を考えられないし、困っている人々に言葉をかけるにも言語がないと何も始まらない。
- 言語学と歴史学。歴史上の戦争の結果などで、その地の言語が決まってくる。例えば、フランスはアフリカの横断政策を行った事により、現代でもフランス語が使われている。
- 言語学と心理学は深く関係があると考えます。人間の心理は誰かとコミュニケーションを取ることで変化する。例えば、誰かに嘘をつく場合、その嘘がバレないようにしたいという心理が働き、無意識で特定の仕草や行動をする場合があります。この時、人間は必ず言語を使っているため、深く関わっていると言える。
- どの〇〇学においても言語を使っているということはすべての〇〇学は言語学とも言えると思った。
- 言語学と思いついたのは哲学です。言語学と哲学の関係は各々の意見が正しく具体的な正解がないということです。例としては人によってそれぞれ考え方が違う間などがあります
- 商学。言語の法則をあえて逸脱することによって自分の会社や商品に興味をもたせて購買意欲を刺激する。
- 言語学と歴史学でヨーロッパの成り立ちと言葉の成り立ちが関係ある。例えば、ゲルマン民族語としてフランス語とドイツ語などヨーロッパの言語が地域によって分かれていて、その地域の言葉が国の言葉になっている。
- 言語学と歴史学の関係の一例としては、日本語で若者言葉ができたり、SNSでよく使われる独自の言葉が出来たりと、時代や文化の変化その時の流行りによって言葉が新しく生まれたり、逆に無くなったことだと思います。
- 言語学と社会学で密接に関係しているのは方言である。社会学者は、社会的コミュニティ内で特定の方言が使用される理由やその方言が社会的アイデンティティにどのように関連しているかを調査している
- 言語学と心理学は深い関係があると思った。自分の心情を他者に表す手段として言語が使われているのはもちろんのこと、逆に言語が人の心に影響を与えることもある。今日の講義中にも取り扱っていた、言語に対するイメージ調査も言語学と心理学の関係が感じられた。
- 言語学と地理学は、全く別のものでなく互いに被ってる部分がある。
- 天文学。地球に対する考え方がどんどん変化して変わってきたこと。言語学も天文学も終わりが無い学問。
- 科学によっていろいろ解き明かされてきた世界の不思議、例えば地動説など。これは世界の科学者がなんらかの方法によって残したのから受け継がれてきたものであり、だれかが、違う言語に翻訳することで世界に広まったものであり、今世にも受け継がれている。
- 心理学。人の心理を考え、表すために言葉にする必要があり言語が必要となる。言語の中でも例えば日本だとイントネーションなどで人の心理がわかるため繋がりがあると思う
- 言語学と心理学は、言語の理解や習得について研究する分野で、コミュニケーションや言語障害についての心理学的側面も含まれています。
- 歴史学は言語学によって今の私たちに伝わった。
- 言語学と歴史学。住む地域やその場所の歴史によって、話される言語が異なってくるという点が、歴史学と言語学の一つの関係なのではないかと思う。例えば、カエサルがガリア戦争を行い、現在のフランスの領域のほぼ全てをローマ領としたため、この地域にフランス語の祖語であるラテン語が導入されたという歴史がわかりやすい例だと思う。
- 私は心理学が思いつきました。言語学はコミュニケーションが大切なので相手のことを知るために会話をします。その時に動作だったり語尾だったりとその人の行動がどういうことを示しているかどうということを私に対して感じているのか心理学に関係すると思います。
- 言語学と社会科学の関係について、多くの日本人がフランス語に対しておしゃれというイメージを持っているのはフランス自体におしゃれなイメージがあるからであつたため、社会と言語は密接な関係に

あると思う。

○心理学。自分が思っていることをどう言葉にするのか。歴史学。言語の発展と歴史の出来事の深い関係

○医学。怪我などをした際にどこを怪我したのか、症状がどのようなものか言葉で伝える必要がある。ある人にしか治せない病気などがあつた時に、母国語でなくても、その言葉は伝わるように統一する必要がある。

○言語学と法学の関係性は、言語が法律の解釈や適用において重要な役割を果たすのではないだろうか。具体的には、言語学的なアプローチを用いて法律文書の解析や法的な論点の明確化することが可能である。例えば、契約書の場合、契約書の文言は法的な効力を持ち、当事者間の権利や責任を定めるため、言語学的な分析は、文法や語彙の使い方、文脈などを考慮して契約書の意図を明確にし、解釈の違いが生じないようにするために必要だと考える。

○心理学が関係あると思いました。具体的には、ものの考え方、捉え方によって言葉の意味が変わっていることです。

○言語学と民俗学との関係においては、ある民族の起源について突き詰めて研究するところが共通点としてあげられる。どちらも言語形態学の要素を含んでいる。

○言語学と歴史学の関係は言語体系の変化にあると考えた。例えば、現在のフランス語では、男性系、女性系があるが、そのもととなるラテン系はこの2つと中性系があつた。これはフランス語が登場するときに男性系と合体した。このようなことから、この2つの学問には関係性があると考えた。

○言語学と人類学を例にあげると、人類の成長の一端には言語が関わって来ると思う。コミュニケーションを取るために言語は必要であり、人類の成長に大きく関わると思います。

○生物学との関係について。人間などの動物がどのような方法でコミュニケーションをとっているいるからなどが生物学と言語学が関係しているところだと思います。

○私は、ファイナンシャルプランナーという資格を取りたいと考えています。税についても学ぶので、経済学に繋がるものなのではないかと思いました。

○言語学と「数学」。数学は言語学がないと成り立たない。証明など言語を使わないと表せ無いものもあるし、数字は文字であるため言語でもあると私は考える。

○「心理学」。言葉をお話するときの話し方やイントネーションの違いなどで、人それぞれ感じ方が違うように、言語と心理は深い関係があると思います。

○文学、外国語学と書いたのですが、言語学とは密接に関係していると思います。フランス語と文学、外国語学は似ている学問であり、言語を中心的に扱うところが共通している。具体的には外国語学で学んだ言語を言語学で学ぶ特徴を合わせて、文学へと派生していく。文を書く上でその特徴を知るとともに言語を扱えるほどの言語力がないとそれは不可能になる。

○言語学と図像学について、図像学なら宗教画などの絵画の中にある比喩やシンボルの美しさを目で楽しむだけでなく、その裏にある意味を学習者と画家の間で通ずる概念として存在させることに人間の高度な知能が詰まっているが、それは言語学であっても、目に見えるアルファベットなどを媒体にその裏であらゆる人と人との間で概念の理解が行われているという観点で見ると、共通点があるのではないかと考える。

○「心理学」。例えば、日本語はすべてを言い切らなくても文章が成立する。なので察するという文化が他の国よりも多い。そうなると言わなくても察して欲しい、むしろすべてを主張するほうが恥ずかしいという心理になる人が日本人は多くなっている。

○歴史学。フランス語が突然誕生したのではなく、時代とともにインドヨーロッパ祖語からラテン語、フランス語というように徐々に変化していったこと

○哲学。意識の中まで直接探ろうとする主観的な哲学から、様々な文脈で用いられる、客観的な言葉の意味を分析しようとする分析哲学が生まれた。

○天文学。言葉が違っても、星座や、太陽系の星の名前などが、どうやった同じものを指すように統一されたのかなと思うので。

○言語学と文学の関係は、そもそも言語学が成り立っていないと、文学を書くための言語が成立しない

ため、書くことも読むこともできず、文学が成り立たないと思います。そのため。言語学は文学にとって必要不可欠な関係だと思う。

○美学。。ヴェルサイユ宮殿をはじめとした、ロココやバロックの音楽や絵画で有名である芸術の国フランスってイメージがあるところから、言語学にそれが影響されてると思います

○言語学と心理学は、私たちが使っている言語、例えば「私は疲れた」は私の「疲れた」という心情を表しており、言語と心理は深く関係している。

○心理学。人間がどう言葉を習得したのか、言葉によってどう考えてどんな行動をとるか関係してくる。

○心理学は科学的に人の考えや行動を研究する学問で、心理言語学という学問もあるように、言語学に関係していると思う。例えば、怒っていれば、暴言のようなものが口から出てくるし、感謝していれば、ありがとうという言葉が出てくる。言語は人を繋ぐもので、心理は自分を表すものであると考えています。故に、言語学と心理学は関係していると思う。

○歴史学。フランス語はもともとインドヨーロッパ語で男性名詞女性名詞中性名詞と3種類に分かれていだけれど、中性名詞が男性名詞に吸収されたという歴史が言語学と混ざり合って現在のフランス語が作られている。

○言語学と医学。他の国で書かれた医学書を言語学を用いて訳し、自分の国に取り入れる。例:杉田玄白の解体新書

○社会学は社会そのものを分析してその成り立ちを研究する学問です。その基となる家族や学校などの集団では言語を使ってコミュニケーションをとっている為言語学と繋がりがあのではないかと感じた。

○言語学と音声学はどちらも声を発する学問のことから類似していると考え。具体例をあげるとすると、言語学を学ぶことは、同時に音声学も学んでいるといえる。逆で言うと、音声学を学ぶことは、同時に言語学を学んでいるといえる。

○言語学と教養学が大きく関係していると思います。言語学とは私の中である単語などをなぜその意味になるのか、なぜその綴りになるのか、深く考えるのが言語学であると思っていて、教養学とはさまざまな事を深く考え、思考力を鍛えるイメージがあるので、「考える」という点で言語学と教養学は関係していると思います。

○言語学と倫理学は、言語の使用が倫理的な価値観にどのように社会に影響を与えるかについて深く関係しています。例えば偏見を広めてしまう言葉や嘘は倫理的に問題です。

○言語学と、文学は切っても切り離せない関係だと思います。言語がなければ、私たちが日々目にして新聞や本、いわゆる文章が書けないし読めないの、言語のルーツを考える言語学と、言語を活用する文学は学んでおいた方がいいと考えます。

○哲学は人間の存在意義のような漠然とした深い事物について考えていく学問であり、言語学も言語に限らず広い分野から人と人の関わりについて学んでいく学問であるため、人間としての存在と関わりなどを深く考えていく点で重なる部分がある。

○文学というものを挙げました。言語学との共通点だと考えられる点は、コミュニケーションとしての意義で共通している点です。言語では言葉で文学では文字で表現するという違いがある程度だと考えています。

○地理学や歴史を学ぶにはまずその地域地方のことばの理解から始まるので、言葉は人類の進化の根源で今も共にお互い進化しあっている。

○言語の文法のルールなどは、歴史学と関係があり長い歴史と共に変化してきた。

○言語学と心理学。精神状態が不安定でイライラしているとそれが他人と話す時に言葉として出てしまう。。言語を発する時はいつでも自身の心情が関わってくる。

○教育学。知識や教養を与えるのが教育だが、それを行うには言葉が必要である

○文章は言語によって書かれるものであり、その言語や話されている地域の特徴、書かれた時代の言語体系がよく読み取れる。例えば、外国語の本を日本語に訳すとき、どうしても的確に訳せないところが出てくるし、明治～大正時代の日本文学の文章には海外進出の影響で横文字が多く見られる。

○「法学」法律は言葉を用いて作られる。正確で確実な表現をしないと国家間での紛争をも起こしかね

ない。また、様々な国の法律を基にして日本の法律を作っている場合もある。そのため、言語学と法学は密接に関係している。

○言語学と考古学ではロゼッタストーンのヒエログリフを解明したジャンフランソワシャンポリオンが挙げられる。発掘された物を解読した。言語学と考古学を使ってヒエログリフを解読した。

○言語学と心理学。人間の心理を表すものである以上、言語とは切っても切り離せない関係であるだろう。心と体、人間と環境の相互作用を表すときにおいて、言語は非常に便利なものであると思われる。言語においては、人間の心理を表すことが可能であり、相互影響について論理的な説明を可能とする。言語学は言葉だけのことではないと考えるのであれば、人間の心理もある意味言語であるので深い繋がりがあると思う。

○言語学と文学。その言語にしかない単語、感性を他の言語にある単語に置き換えて翻訳する。木漏れ日、わびさびなど

○歴史学。言語学は今ある言語の特性や構造を学ぶ学問だと思いますが、言語は昔からずっとあるものだと思います。例えば、その言語がどのように変化して今の形になったのか、そもそもどこから伝わってきたのかなど、言語の歴史もまなぶことがあると思います

○言語学と歴史学には数量的な関係があると思う。例えば、フランス語やドイツ語がラテン語から派生したように、歴史とともに言語は増えていく。また、植民地などの歴史を持つ国はかつて支配していた国の言語を使っていることが多く、植民地を他国に多く作っていた国は、今も多くの国でその国の言語が使われている。

○相手の気持ちを害さないように言葉の言い回しを工夫したり、相手に不満を持つ時に声を荒らげることで相手の注意を自分に向けるなど、コミュニケーションにおいて相手の気持ちをコントロールすることができるという点で、言語学と心理学は関係性があると思う。

○歴史学。言語学を研究するには、言語の歴史や、当時の社会的背景、人々の風俗についても調べなくてはならない。歴史と言語は深く結びついている。言語は日々変化しているものであり、歴史もそうであると言える。

○心理学。。人間の心理は言葉に全て出てくるから言葉の伝え方や言葉選びを研究することで心理がわかるという点で関係している。例えば、何かに友達を誘った時、行ってもいいよと言った時と、行くのはいいよと言った時で、いいよとは言葉では言っても、行ってもいいけど、という前向きではないニュアンスが含まれるからいいよとは言っているけど本心では行きたくないという要素が含まれる。。

○言語学と環境学の関係について、ある言語で景観の状況を表現するときどのくらいの熱量でそれを伝えたいのか言語を使って表現することができる。

○私は来年勉強したい第3言語の候補として、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語のどれかと考えており、この中から1つに絞る比較方法としてそれぞれの言語圏に行ってどこを観光してみたいか、その言語圏の食べ物を食べてみたいかなどの視点から見ていることに言語学と観光学の関係があるのではないかと思った。

○考古学と言語学は特に密接に関係していると考えられます。例えば、ある場所で発掘されたものにその付近では見られない言語が記してあったらその場所とその言語が主流だった場所とが交易等で交流があったという証拠になります。世界中で違う言語を話しているからこそその発見があるのだと思われます。

○数学と言語学は私たちが日常的に使用しているものの学びを深めるという点で似ていると思う。数学で使われる数字や記号は1、2、3、や×、+、-のようにさまざまな言語で共通していて、誰でもぱっと見て理解できるので、数学における文字は、一番使われている言語だという考え方もできるのではと感じた。

○言語学と文学。文学作品に描かれた文を分解したり意味の繋がりを考えたり、と言語の機能面から文学作品への理解を深めることができる。それが外国語作品を日本語に訳すとしたら、授業でやっていたように il と 彼 の使用条件や機能の違いや、その言語にしか表せない単語や状況をどのようなフレーズで描写するのか(日本語なら木漏れ日やもったいない等)、などそれぞれの言語の特徴を元の作品を壊さないようにしながらどのように活かすのかを考える必要がある。

○言語学と法学。この二つは裁判や法的文書の理解において深く関係している。例えば、例えば異なる言語を話す当事者や証人が関与する裁判の場合、言語学的専門知識が通訳や証言の正確さを確保するのに役立つと考える。

○ネットで調べていたら、法学と言語学が融合した法言語学というものを見つけて驚いた。そして法言語学は法科学の文脈における言語学の知識・手法・洞察の応用であるを知った。また応用言語学の一分野。

○倫理学。言語学は人間の感情や人間らしさが言語や言語以外の形で出てくる学問だと思う。倫理学も感情や人間らしさを考える学問だと思うので言語学と関係あると思う。

■フランス語に関して、何か疑問、不思議に思っている点、困っている点などあれば教えてください。なければ「なし」と教えてください。▶は田中からのコメント。

○on が私たち(一人称複数)を表すのに三人称単数の活用をすところ。DELF B2 と仏検準1級までの合格目安の語彙数や知っておかなければいけない文法事項などを知りたい。また、獨協大学のフランス語の講義を受けるだけでどのレベルまで身につけられるのかがあればそれも知りたい。

○r の発音が難しい

○seconds はなぜ「すごおん」という発音になるのでしょうか。

○なぜ、フランス人は T'inquiète というのか？。ne pas はどこに行ってしまったのか ▶本来は ne pas があってでしょうね。肯定文が否定の意味を持ったり、否定文・否定的な語が肯定の意味を持つなど、表面的に読み取れる意味とは逆になることは日本語でもあります。「やばい」が褒め言葉になるなど。

○なぜ形容詞は名詞より後ろにあったり、前にあったり位置が変わるのですか？ ▶わかりません。ただ英語でも black big dog はダメで big black dog と言わなければならないなど、形容詞の語順にも一定の規則があります。

○なぜ国際組織で公用語になっているのですか？ ▶世界史に関係しますね。調べてみて。

○なんでフランス語って発音難しいのですか？

○なんで男性女性の名詞を作ったのですか？

○まだ慣れが足りないのか、フランス語の語順に迷ってしまいます。

○アクサンテギュなどのアルファベットにつく記号のようなものが未だに多い。

○スマホにフランス語のキーボードを追加したらアルファベットの並びがちよくちよく違ってよく打ち間違える。▶iPhone なら通常のキーボードでよいかも。Android は分かん。

○フランス語には、私たちにとって、なぜおしゃれなイメージがあるのかがしっくりくる答えが見つかりません。日本人以外の国の人もそう思っているのか気になりました。▶日本が特殊かも。

○フランス語の文法で整数一致について非常に混乱しています。直接目的語が後ろにある場合、過去分詞の整数一致は必要ではないという認識でよろしいのでしょうか？ ▶合っています。

○フランス語はなぜ最後の文字を読まなくなってしまったのか。知りたいです。また、どうすれば発音を聞いてスペルが思いつくようになりますか？

○フランス語学科に所属しておらず、フランス語もさっぱり分からないのですが、独学でフランス語を覚えるのは可能ですか？ ▶要するに本人の意志意欲次第ですが、誰かに習ったほうが早いと思います。

○フランス人っぽく話す話し方を教えて欲しいです。▶語彙を増やす、発音の練習をひたすらする。

○フランス人は英語も話せるって本当ですか？

○モチベーションを保つことができていない。▶フランス語学科を選んだ理由、獨協大学を選んだ理由、大学進学をした理由をもう一度考えてみ。この答えによって4年間の価値が変わる。

○リエゾンするとことしないところがわからない ▶まずは教科書などで絶対する・絶対しない、の両極端を理解することから。

○①名詞の性別は無作為に神から授けられたと言われているが、実のところ何かしらの規則性があるのではないかと感じている。②複合過去の文中で助動詞が avoir で目的補語人称代名詞の直目が動詞の前にある場合、過去分詞は直目に性数一致するが、間目は性数一致しないのは何故か。▶わかりません。でも、おそらく、直接目的語と間接目的語とでは情報として重要度に違いがあり(直接目的語のほうが

上)、その違いだと思います。

○英語よりもカタカナ読みで通ってしまうという認識が間違っているのか、r の発音を極めてもダサくなってしまう。▶英語もフランス語もカタカナ読みをしている限り、英語やフランス語に聞こえません。

○活用がなかなか覚えられなくて、困っています。▶練習不足です。

○冠詞が場面で変わるのが良くわからないです。

○冠詞と代名詞のところが一番分かりにくくて困ってます

○後末の音が繋がったり、繋がらなかったりして、毎回発音するたびに迷っている。規則などがあるなら知りたい。

○初心者の中にやっておけば良かったな！と思う事を教えて欲しいです。▶単語。

○書きはまだ出来そうだけど冠詞を考えながら喋れるようになるビジョンが浮かばない。▶経験不足です。ただ、僕らでも迷うことはよくあります。

○女性名詞や男性名詞の区別が難しく、なにか簡単に覚えられる方法があったら教えて頂きたいです。

○性別によって名詞が分けられるのが難しい

○先生がフランス語を上達する上で大切だと思うことは何でしょうか。▶地道な努力。

○全体的にフランス語ができるようになる気がしない。▶まずは「できるようになるう」ということ。

○大学からフランス語を学び始めた人間が仕事でフランス語を使えるようになるには、何を目標にして勉強していけばいいですか？

○中世代名詞が難しいのもそうですが、英語と違って文の語順がよく分からなくなってしまうことが多々あります。対処法がありましたら教えて頂きたいです。

○中性代名詞がいつどれを使うのかよくわからないです。

○日本語に直訳した時とか文法の授業のフランス語を日本語にしたときの答えが理解できない。▶教員の訳し方にはそれぞれクセがあるので、わからない時には質問に来てください。

○発音のコツ(英語のvだったら唇噛むみたいな感じとかです)とかあったら知りたいです。

○鼻母音や舌を使う発音が難しいです。

○複合過去と目的補語人称代名詞について。Avez-vous raconté cette histoire à votre mari ?。↓。La lui avez-vous raconté?。この場合、raconté は直接目的語と間接目的語どっちに性数一致すればいいですか？

▶直接目的語、つまり La に一致させてください。

○文法など理解自体はできてもそれを用いることが出来ない。知的好奇心で勉強していたけど今はただ仏検に受かることしか考えられないから面白みが減ってる気がする。▶本来、仏検は目標・目的ではないですよ。仏検合格にはテクニックによる部分もありますが、フランス語力がない人にはテクニックも役に立たないので、まずは仏検を考えずにフランス語の勉強を好きなようにやってください。

○文法の先生が大体は複合過去形を使うと仰っていたのですがなぜ大過去の形があるのか。▶大過去を使うかどうか個人差があります。

○留学するには検定などどのくらい取れば安心ですか？▶最低仏検準2級。

○話す時にひとつひとつの冠詞が完璧にあっていないと勘違いされてしまうのですか？▶いいえ。フランス人でも迷ったり(名詞の性を)間違えたりすることがあります。

※このほか「なし」が43件

■今日の授業(っぽいもの)の感想を教えてください。

○とても楽しかったです。ありがとうございました

○大講堂内でのグループ授業という新しい形態に面白みを感じました。

○実際に定冠詞と不定冠詞の違いについて考えるきっかけになった。

○日本語の聞き取りで核心を突かれたような感覚がした。

○IIの固定概念にとらわれていた

○先生の授業面白かった。

○この現代社会の授業で文法面にふれてこなかったのが必修の文法より楽しく学べました！これから

も増やして欲しいです

○ためになった。ギリシャ語を少し学んでいたの、活用への理解をしていたつもりだったが、まだまだだと思った

○des と les の使い分けは文法の授業で習ったが、今回仕組みまで知ったことでしっかりと理解できたし、もう忘れないと思います。

○グループワークのある授業が少ないので楽しかったです

○自分がフランス語を学んでいる上で疑問に思っていたことやヘイトを溜めていたことに関する話題に触れて頂けて良かったです。

○フランス語はこういうものみたいなものが覆された気がします

○リスニングの聞き流しより単語力を強化すべき、という気づきを、実践を交えて、与えて貰えた。インド・ヨーロッパ祖語という言葉は初めて聞いた。面白い

○自分がいつも使わない視点の授業をしていたため新鮮な気持ちで授業が受けられた。二回目の授業だったが飽きがなかった。

○とても興味があるトピックでよかった。

○すごく楽しかったです。先生の講義する言語学の授業を受けてみたいです。2年で受けられますか？いつ受けられますか？▶「フランス語学論」は2年生から。

○考えさせるような授業はこの時間以外ないので、新鮮で楽しいなと感じました。

○レスポンドで活発にクイズ形式のような感じの授業だったので飽きることなく夢中で取り組むことができるとても良かったです。リスニング力を上げるためには語彙力をあげることだと言われて、日本語の書取りをしてとても納得しました。

○おもしろくって、フランス語の勉強にもなりました、収穫をした感じがします。

○グループワークで話し合いができて楽しかったです。

○めっちゃくちゃ楽しかったです

○フランス語と英語の類似点を客観的に知れたのでよかった。

○当たり前を疑った方がいいのかなと思った

○今日もレスポンドを使って周りの人の意見を見られて楽しかったです。フランス語についてだけでなく、言葉を伝える難しさや深さや、語彙の大切さを知れました。

○英単語の無音の音がこんなにあって驚いた。

○通性、中性の区別がある言語が存在することを初めて知った。世界には様々な言語が存在して面白いなと感じた。

○不定冠詞と定冠詞の違いについて詳しく学ぶことが出来たので良かったです。特に文法が好きなので新たな知識を得ることが出来て良かったです。

○100分が短かった

○こんなにレスポンド使ったのは初めてで、ただ講義を聞く授業よりも楽しかったです。

○いつもの現代社会入門の授業とは違って授業に参加している感があって楽しかった。また、このような、授業体系も面白いと思った。

○大学に入ってから、グループワークをしていなかったが、久しぶりにやってとても楽しみながら授業を受けることができました。英語にも今のフランス語と同じように、元々は動詞の活用が多かったことは知らなかったの、驚きました。

○日本語の聞き取りが出来なかったのは、語句を知らないということもありますが、それ以上に、その語句が出てくるとい予想が出来なかったということも関係していると思います。▶鋭いね、その通りです。要するに文脈があるほうが予想しやすい。ただ、文脈を理解するにも語彙力が必要なので、結局は語彙力次第です。

○大学に入学してからグループワークを行ったのはほぼ初めての経験だったので緊張しました。des の成り立ちについて知ることができて良かったです。

○部分冠詞と不定冠詞、定冠詞が変わるだけで意味が大きく異なるという事を再認識できた。

○近くの人とグループを組むことで授業を集中して受けることができた。また、フランス語がラテン語

から出来ていると初めて知った。

○英語も昔は性数などがあったことに驚いた。やっぱり世界の公用語として、いまは話されてきているものだから簡単になっていったのかなと思いました。

○グループワークだったので新しいお友達と仲良くなれました。

○グループで話せる内容もあって楽しく授業に参加出来ました

○英語ができるならフランス語もできるかと思いました。

○初めて現代社会でグループワークをやってみて、一緒に一つのことを考えるのがとても面白いなと思った。いろいろな意見を仲間から聞いてみて、そう言う考え方もあるんだなと新しい視点を見つけることができてよかった。

○フランス語を日本語に訳す時にフランス語は日本語と違う感じに使ったり訳したりするので気をつけていかないといけないと感じました。II は非人称構文でも使われるので色々フランス語文を読んでいきたいなと思います！

○この授業で今までグループワークがなかったので、グループワークができて良かったです。フランス語学科の知り合いも増やせたのでこれからもグループワークを是非お願いします！

○昔の英語にもフランス語と同じように男性名詞や女性名詞があることを知って驚きました。また、5個以上文法性がある言語が 10 パーセントもあって、フランス語で苦戦していられないと感じた。もっとフランス語を頑張りたいと改めて思えた。

○on.one で e が入るだけでなぜ one の o の発音が変わるのかなど、深く考えたことがなかったので面白かった。

○Des/les のどちらが一般的なのか、感覚的なもので理由がわからなかったのが面白かったです。

○知らない人とグループワークするのは大変でしたが楽しかったです。

○何事も型に捉われず柔軟な発想を持って物事を理解してみることが重要だと感じた。

○学問のとらえ方が変わった。様々な学問が全くの別物なのではなく、重なる部分や関連をもつ分野もあることに気づいた。

○フランス語の難しさが改めてわかる授業でした。あまり触れない観点からのお話を聞いてなるほど！と思うことが多かったです。

○今回の授業では日本語のリスニングのこともやり意外とできていないのだなと思った。

○分かっていたつもりで、分かっていたなかったフランス語の文法が多かったです。des なのか les なのかという部分がいつも分からなくなっていたので、今回の説明を受けてしっかりと理解できて良かったです。

○グループワークで他のグループの回答を見たりできるのは視野が広がったためになると感じました。

○すごくおもしろかった！

○日本語において彼と示すものがフランス語の II に対応しないという結論に納得がいきません。その見知らぬ男性はという主語を綺麗な日本語にしたら彼になるのではないのでしょうか？小説でも〇〇くんのが好き。でも彼は私のことが好きじゃないみたい。などの彼という言葉を使ってその人のことを示すと思うのですが、▶その「彼」の使い方は新しい日本語です。本来知らない人間に対しては使わないのですが、その制限がだんだんなくなってきているのでしょうか。また、あえて「彼」と呼ぶことでその人物との距離が近いことを表しているかもしれません。

○言語学に興味持ちました

○日本語の書き取りのときに、今まで他の言語だから意味がわからないんだと匙を投げていたリスニングが、単純な語彙不足であると、自分の使っている日本語に置き換えることで体感できたので、語彙力を増やすのを頑張ろうと思った。今までもリスニングは語彙力だとは言われてきたが、ただ言われるのと、今日自分で納得してみるのとではぜんぜん違うと思った。

○当たり前だと割り切っていたことやフランス語を学んでいる中で疑問を感じたところをつきつめて考えて知っていくことはかゆいところに手が届いたという感覚でとても楽しかった。

○今日の授業は、フランス語での考え方というのを、体系的に知る事ができた。

○言語学っぽいなと思いました。▶言語学の回だからね。

- 今日の授業は、グループワークだった。初めての人と3人組になったが、楽しくやることができた。フランス語や、様々な〇〇学についてよく考えることができた。
- テンポがよく、集中切らさずに講義を受けることができました
- フランス語にはなぜ私たちはおしゃれなイメージを持っているのか考えても、納得する答えがまだ見つかっていないのでこれから見つけていきたいです。英語も複雑な部分があったように、慣れることでフランス語を上達させていきたいです。
- 最近ちょうど des や les の使い分けについてさらっと習ったところだったので、今日再確認できて良かったです。また、昔の英語にも男性、女性、中性があったんだと驚きました。
- 今までは、あまり人と関わらない感じでしたが、こんなふうに関わるとより楽しく授業がうけるな一と思いました。
- 英語にも昔男性名詞女性名詞があったことに驚いた。英語では日光と太陽それぞれ違う単語を使わなければいけないところ、フランス語だと冠詞を使って同じ単語で表すことができると知り、今まで冠詞に苦手意識をもっていただけ、今からは感謝して学ぶとことのできるなと思いました。
- グループワークがとても面白かったですし、普段の必修で受けているフランス語の授業では聞くことのないとても学問的な視点でのフランス語について聞けてかなり興味深く大変有意義な時間でした。ありがとうございました。
- 今回の授業を受けてフランス語の奥深さに触れられて楽しかったのでこれからのフランス語勉強のモチベになりました。ありがとうございます。
- 日本語のディクテーションをした時、正直絶対できるだろうと思っていたのですが、漢字が分からず書くことが出来ませんでした。その際に、自分は単語の知識が無いからかけないのだと思いました。英語のディクテーションも自分が分からない単語があるから書くことが出来ないのです。それに気づくことができ単語をきちんと覚えようと思いました。
- いつもはただフランス語を訳したり、単語を調べたりするだけですが、語学は深く、単語や文法をもっと深く考え、学ぶことができるのではないかなと思いました。
- レスポンス機能を活用していて、分かりやすく面白い授業でした。
- 私は、いまだに日本語についてよく分かっていないのだなと思いました。母語に関しても分からない点があるのに、外国語を学ぶことができるのかと考えました。日本語に関してもフランス語、英語でもまだまだ語彙が足りないと思うので、単語帳を見直そうと思います。
- 冠詞を今まではもっと固く考えていたけれど、自分が伝えたい内容に応じて変化させていくものだと知り、分かりやすくなりました。
- フランス語の男性名詞女性名詞の歴史の長さや、その謎について学べて言語学の面白さが増しました。英語にも性が存在していたことに驚きました。英語に性がなくなったおかげで勉強の負担が減ったのでよかったなあと思いました。
- 参加型で退屈せずに受けることができたのでよかったです。
- 日本語の書き取りをしたとき知らない単語だけが書けなくて、語彙を増やすところから始めないとないなと思いました。
- 機械的に覚えていた文法など疑問をあまり持たなかったが les や il の訳し方について知ったことで言語は奥が深いと思った。グループでの活動が楽しかった。
- 話が面白いのでずっと聞いていられる
- 冠詞の細かい意味の違いがなんとなく分かって面白かったです。
- 今まで、発音しない文字「黙字」に関してコスパ悪いなど思ったり感じたことがなかったので、講義を受けて黙字に興味を持った。
- 興味深かったです。
- あらゆる物事に対して枠組みを作るのは、その枠組みに属していれば安定している、安心だ、自分は普通だという気持ちになり、精神的安定が取れるからでは無いかと思う。日本は村単位で活動していた期間が長く、仲間意識と団結という言葉を非常に好んでいる。そのため村という枠組みが無くなったあとの心の拠り所や安定感を得るための場所が「枠組み」という形になったと考えている。数年前から、

あらゆる物事や切り離して考えることが出来ないということに気がついてからは、この「枠組み」意識に違和感を持っていたので、枠組みをぶっ壊すという旨の発言には共感した。特に、学問に関しては何を学んでも、異なる学問の知識と関わってくる部分が多く、知識の結びつきができることに気がついてからはいっそう勉強が好きになった。

○不定冠詞、定冠詞、部分冠詞のグループ分けの仕方がとても分かりやすかった。またIIは彼以外の単語に訳すことができることがわかった。

○友達と話し合ったり考える時間があったりして協力して問題を解いていけたのが楽しかったです。

○面白かった。自分の自己紹介タイムはあまり楽しくなかった。

○古い英語の動詞にはフランス語のような、主語別の活用があったということに驚きました。

○リスニング力を高めるには語彙力が必要なんだと、再確認しました。日本語でも知らない言葉は書けない、まずは単語力を上げようと思います。

○単語を知らないと聞くことも書くことも何もできないからまず日本語も英語もフランス語も語彙を増やしたいと思った。フランス語で彼といっても日本の彼とは違うというのは確かにと思って他の言語にも共通する部分があると思ったからフランス語の概念でものを理解できるようになりたい。

○冠詞について、こんなにも深く考え語することは今まで勉強してきて初めてだったから面白かった。よりフランス語を学ぶことが楽しみになった。

○レスポンスに答えていくにつれて徐々に言語学と他の～学の関係が見えてきてなんだかゾワゾワしてとても面白かったです！

○普段なんとなくそういうものと聞き流していたり分かった気になっていたものを、意味を考え直して再確認できたのでありがたかったです。また自分は英語の方が難しいと思っていたので少数派だったことに少し驚きました。

○フランス語の冠詞についての解説ありがたかったです！フランス語の授業は硬いものばかりだったので、ゆったりしたこの授業は楽しいです

○フランス語のものはラテン語、ということは知っていたが、それのもとになったさらに古い言語があることを知った。また、古い英語の存在やそれには細かい活用があったことも知らなかった。中性代名詞のプチ講義？が腑に落ちるところがあり、とても興味深かった。

○知識としてだけだった部分冠詞が、感覚的な使い方も知ることができた。また、日本語の彼とフランス語のilでは対応する範囲が違うことが興味深かった。

○未知の言語を学ぶことは楽しく感じた。英語と違ってくるところも多いと知れたので興味深かった。

○フランス語はスペルの通りに発音しないところが難しいなと思っていたが、英語の方が黙字が多く難しいことに気がついた。たくさん勉強して慣れることの大切さを知ることが出来た。

▶時間の関係で全員に対してコメントできず申し訳ない。何かあれば後日でもよいけど聞きに来てください（またはメールなどで）。